

和泉市 いずみの国歴史館 平成24年度 秋季企画展

大 大園展

— 知られざる大園の世界 —

平成
24年

10/6(土) ~ 12/9(日)

記念講演 10月27日(土) 午後1時30分~

石部 正志 (市史編さん委員)
「和泉国府は大園だった?!」

11月10日(土) 午後1時30分~

三好 玄 (大阪府教育委員会)
「大園遺跡出土埴輪の再検討」

会場 いずみの国歴史館会議室(聴講無料)

定員 80名 申し込み不要 当日午後1時から歴史館にて受付

「音★楽市」inまなびのプラザ 開催!

11月3日(土・祝) 午前11時~午後4時
インディーズのコンサートと体験学習

参加費
無料

和泉市いずみの国歴史館

〒594-1152 和泉市まなび野2番4号
TEL・FAX 0725-53-0802
E-mail:rekishikan@coda.ocn.ne.jp

休館日 月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日

時間 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分)

入館料 無料



【交通】景北高速鉄道 和泉中央駅より徒歩20分 / 和泉中央駅から南海バス「松尾寺」「美術館前」行きで「緑ヶ丘団地」下車、徒歩5分 / 南海本線 泉大津駅より南海バス「春木川」「若穂」行きで「内田上」下車、徒歩7分。
(駐車場台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。)

写真：大園古墳出土人物埴輪 (高石市教育委員会蔵)

題字：干菓子

主催：和泉市、和泉市教育委員会

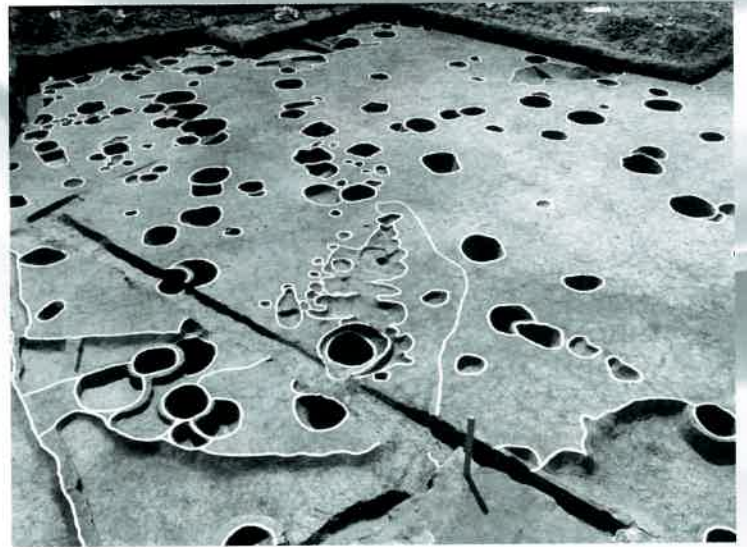
大、大園展

— 知られざる大園の世界 —

開催趣旨

大園遺跡は和泉市、高石市、泉大津市にまたがる大規模な遺跡です。大園遺跡の発掘調査は、国道26号、府道松原泉大津線建設とそれに伴う土地区画整理事業がその始まりでした。これらの調査では、大園遺跡における弥生時代以降の集落の変遷が明らかになりました。特に、掘立柱建物群で構成される古墳時代の集落の変遷が明らかになり、古墳時代集落研究に一石を投じてきました。

ここ最近、和泉市域における発掘調査が進み、さらに多くの成果が得られました。古墳時代集落に関する成果はさることながら、続く奈良時代について、巨大割り抜き井戸、トイレ遺構のような特殊な遺構が検出されるなど、一般集落とは異なる性格を持つ集落であることが明らかになってきました。そこで、最新の成果を含め、主に古墳時代から奈良時代にかけての大園遺跡の性格を再考してみたいと思います。



掘立柱建物群



韓式系平底壺(和泉市教育委員会蔵)



トイレ遺構出土土器(和泉市教育委員会蔵)



巨大割り抜き井戸



口縁部に把手の付いた甕(和泉市教育委員会蔵)

主な展示品

衝立形埴輪・盾形埴輪(大阪府教育委員会)

人物埴輪(高石市教育委員会)

墨書土器(泉大津市教育委員会・和泉市教育委員会)

埴仏・文字印刻飯蛸壺(高石市教育委員会)

トイレ遺構出土遺物(和泉市教育委員会)